

Happy & Soft Landings!

2006.12.20

XPJUG

あまのりょー



慣例に従い、まず宣伝

- エンジニア・マインド vol.2
(12/15発刊・技術評論社) に記事書きました
- “Extreme Experience 「誰と」重要”
- 読んで感想いただけると嬉しいです



違う世界からの切り口シリーズ

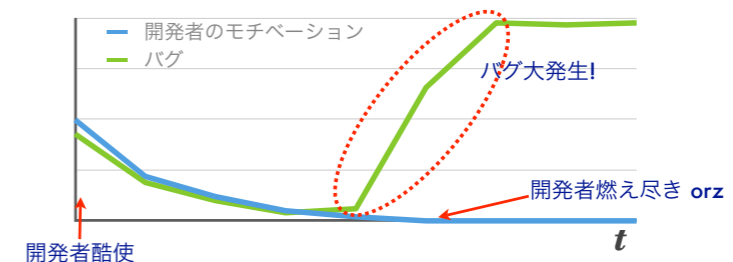
- 2005.9.3 XP祭り2005
「XPと脳梗塞」

XPと脳梗塞
について
考えてみました

- 2006.6.29 オブラブ夏イベント2006
「XPと生態学」

ソフトウェア開発では

- 優秀な開発者が先に燃え尽きる事により、バグの発生を抑制する要因がなくなることによるデスマ化。

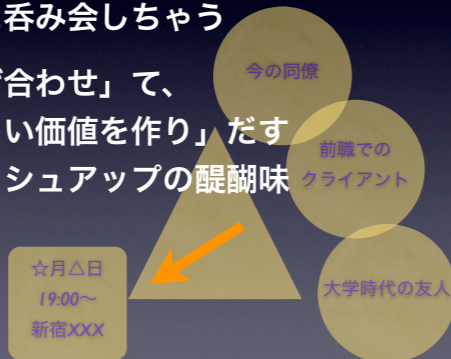


切り口を逆に適用

・2006.11.17 オブラブ秋イベント2006 「an agile way of drinking session」

呑み会マッシュアップ

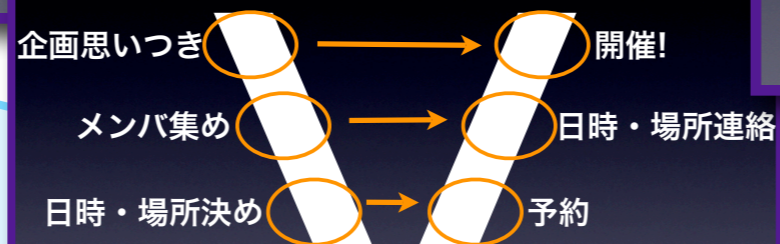
- 複数の違うコミュニティの知己と、一緒に呑み会しちゃう
- 「混ぜ合わせ」て、「新しい価値を作り」だす
→マッシュアップの醍醐味



呑み会品質特性

- **機能性**：呑み会のテーマは達成されたか
- **稀少性**：レアキャラに会えたか
- **経済性**：food/drink のコストパフォーマンス
- **到達性**：場所のアレンジは適切か
- **保守性**：高凝集・密結合な集まりだったか
- **再利用性**：このメンツでまた集まりたいか

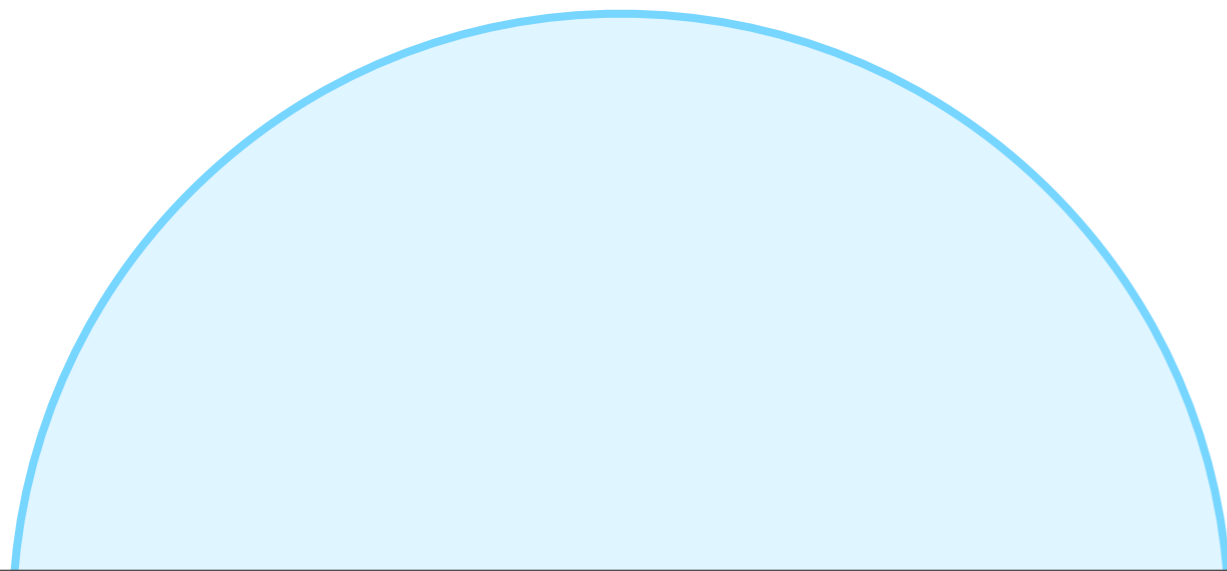
呑み会V字モデル



Another World ->

Software Development Part.3

- おそらく一番大きな球を使用する球技を切り口に、ソフトウェア開発を考えてみます
- バスケットではありませんよ
- さっきから出ているこれ



Hot Air Balloon

- ・「熱気球操縦士技能証」持っています
- ・いわゆるパイロットライセンス
- ・この会場に P1 か Pu/t の方、いらっしゃいますか？



関東のフライトエリア 渡良瀬遊水池にて

本日の結論

- ・みんな、ライセンス取ってみて
- ・んで、マニアックな話で盛り上がりましょう
- ・今日の話は、やってみないとわからない箇所も結構あるので :-)



先手を打ってお知らせ

- ・良く聞かれる事は、私の Web ページに
「**熱気球Q&A**」というコーナーを設けてあります

<http://mugiwara.jp/Balloon/>

- ・ex.)

Q2. **砂袋**をつんだりするんだよね？

Q8. いったい**大会**では何を競うの？

Q17. **風船おじさん**はどうなったの？

Q18. 上空でもよおしたときは・・・

... et cetera ...

「初めて」の感動を大切にしたい

- 初フライト、初トレーニング、初ソロ、それぞれ思い出深いものです
- プログラムも、小さなものであっても初めて作って動いたときの興奮は皆さんありますよね
- そのキモチを時々、反芻してみるのもいいかも

初フライト、初トレーニング

・フライト・ログより

初フライト！
パイロットAさん。Tさんと一緒にのる。いつのまにか高い所にいた。また乗りたい。。

初トレーニング！KT・TNさん。
すごく緊張。視るところを視んなあかん。自分で考えること。次からもがんばろう。十勝ワイン。

・この初々しいキモチをぶら下げたい

初ソロ

- ・ライセンスを取った人だけの、醍醐味
- ・なんとか一人前として認められる
- ・ソフト屋さんでいうと、
小さなプロジェクトのリーダーを任された感じか



ソロ用気球 Black Angel



ソロフライト 離陸直前

ログブック

- ・初フライトからの全てのフライトについて、ログブックに記録しています

- ・フライト後**すぐにふりかえり**

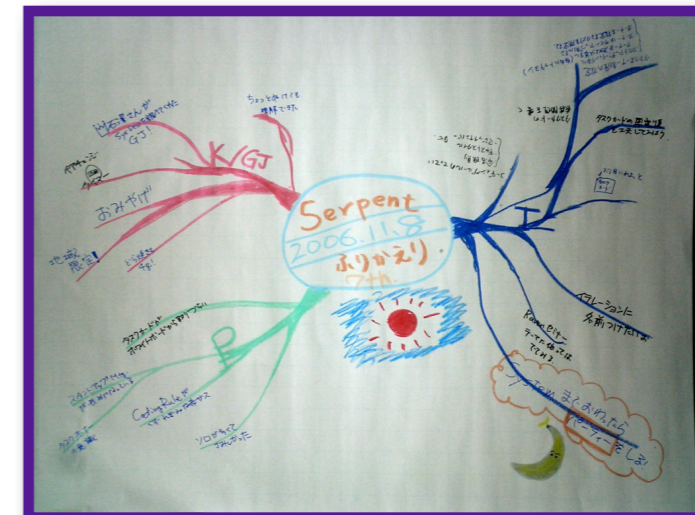
→こまめな「**ふりかえりサイクル**」



フライト後、LPGの充填所にてログを書くの図

- ・後日またログブックの記録を見て、**思い出す手がかりに**

→今のPJでは **KPT** の結果を **Wikiページ**に残しています


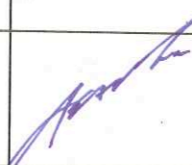


イテレーションのKPTシートは撮影して、いつでも見られるように

ログブックの例1

飛行回数	日付	気球名	離陸・着陸		滞空時間	P1回数 時間	飛行距離	最高高度	資格	機長署名	その他
31	'95 10/28	天狗 AX-8 JA-A-0503	中間	より 7:05	0:40	:	0.2 km	1.100 ft m	Pvt	Atusto.T.	ファル・かまやん。クルー全員が同 回生にはたのは初めて。ファル は初P2。東がはくはっていた のがイタかったが、なんとか。
			D.K.C. 南東 200m	まで 7:45							
32	'95 10/28	天狗 AX-8 JA-A-0503	中間	より 7:50	0:20	:	0.3 km	900 ft m	Pvt	Kawamae	ファル・かまやん。まずD.K.C.ま で低空でもっていき、landingす るところまでバルーンをにぎる。 風はおだやかだった。
			D.K.C. 西 100m	まで 8:10							
33	'95 11/3	SCARLETT II AX-8 JA-A-0699	嘉瀬川ランチサイト	より 8:45	1:30	:	5.0 km	2000 ft m	Pvt	Fumika.K	スカレットIIの初飛行。寺西さん。 佐賀バルーンミーティング初日。#1 PDG, #2 FIN, #3 FON。最後はねはった が、なかなかいい風がなかつた。
			森田	まで 10:15							
34	'95 11/5	GARE AX-7 JA-A-0607	久保田町徳万北東	より 9:05	0:55	:	0.5 km	5.000 ft m	Pvt	Kawamae	バルーンミーティングのタスクが終 わってから中間。ファル。5000ft からの眺めはすんごく奇 麗だった。最後はクレタるい。
			嘉瀬川ランチサイト	まで 10:00							
35	'95 11/10	天狗 AX-8 JA-A-0503	大中干拓地センター	より 7:15	0:30	:	7.5 km	1.400 ft m	Pvt	Kawamae	トレーニング12回目。B.A IIの後 を追うつもりが、愛知川を越え てしまう。鈴鹿は大中初フライト。 インフレドけローソンさん。
			彦根市石寺町	まで 7:45							
累 計					26:50	:	117.8 km				

ログブックの例2

飛行回数	日付	気球名	離陸・着陸	滞空時間	P1回数 時	飛行距離	最高高度	資格	機長署名	その他
76	'96 11/23	SCARLETT II AX-8 JA-A-0699	嘉瀬川ランチサイト より 15:35	0:45	:	3.0 km	1.600 ft m	P2		大会4日目。#13 MIN. 田中、オブザーバーのLawrenceはフランス人。タスクの設定は良くなく。皆は楽しんでいた。マーカーを子供にもとて入れた。
			久保田町久保田 まで 16:20							
77	'96 12/29	♀ AX-7 JA-A-0863	センター土手ランチサイト南西 より 8:20	0:40	:	3.5 km	2.000 ft m	P2	y. nagata	今年も来ました年末の渡良瀬。チロさんの気球に乗せていただきました。ハート池の上を飛び、良い景色をタンナーしたです。
			北川辺町グランド近くの土手 まで 9:00							
78	'96 12/30	♀ AX-7 JA-A-0863	総和町関戸宮戸川横 より 8:35	0:50	11 8:35	12 km	2.600 ft m	P1	self	久しぶり、約2ヶ月ぶりにバルブを握る。チロさんの気球でソロで飛ばしていたたく。やはり自分でうごかすのはすごく楽しい。
			八千代町兵庫田圃 まで 9:25							
79	'96 12/31	アロッチ AX-7 JA-A-0864	野木町北西の思川堤防 より 8:50	0:30	12 9:05	1.5 km	2.400 ft m	P1	self	ほかぞー初P1のあと、中間してソロで飛ぶ。アロッチでP1は初めて。ぐる。とまわって戻れた。面白いフライトだった。ランディングも。
			下生井の土手 まで 9:20							
80	'97 1/1	♀ AX-7 JA-A-0863	センター土手ランチサイト より 15:10	0:20	:	4.2 km	3.700 ft m	P2		1997年元旦、今年初めてのフライトはチロさんに乗せていただく。短時間ながらためになるフライトでした。ゴーザ(=ラ)臭アリ。
			小山市新波田圃 まで 15:30							
累 計				59:10	:	273.5 km				

・今日、持って来ているので、
見たかったら懇親会で声をかけて下さい

フィードバックのたとえとして

- **Kent Beck** は白本の第2章で、「車の運転」の話を持ち出した

- 個人的には、

「熱気球の操縦」の方がしっくりくる

→ **少数派**でしょうが・・・

- ET2006 のパネルディスカッションにて

平鍋さん 『 **アジャイルは「漂流」じゃなく「航海」** 』

→ この感覚に近いかも



なぜ、じっくりくるのか

- バーナーを焚いてから、
浮力として反応が得られるまで少し**タイムラグ**がある
 - 容積の大きい機体ほどタイムラグも大きい
 - ソフト開発のプロジェクトに似ているような
- レベルフライトをするためには、
こまめに、バーナーを焚く必要がある
 - なんにもせずにいると、自然冷却で浮力が無くなる
 - **sustainable** にするには、努力が必要

一見、「優雅」なイメージ

- ・確かにフライトして、
上空からの眺めと気分は**格別**です



琵琶湖横断フライト中



ソロフライト中、横を飛ぶ熱気球を撮影

でも実は泥臭いんです

- **離陸前の準備、着陸後の回収とか**
回収するまでがフライトです
- **ソフト開発にも銀の弾丸はありません**
あるのは**泥臭い実践の積み重ね**だけです



泥臭いフライト長靴の山

組み立てて、バーナーチェック

- ・どれくらい泥臭いか、少しお見せしましょう



慎重かつ迅速に



バーナーチェックは「テストファースト」

インフレーション



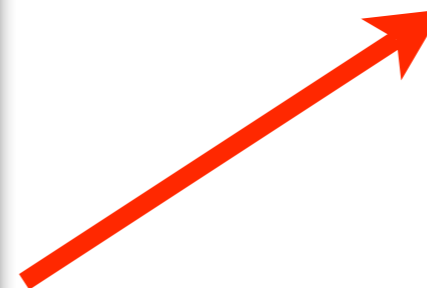
最初はべたっと広げる



大きな扇風機で冷気を入れて膨らませます



バーナーで熱気を入れて
徐々に立ち上げていく
もちろん、開口部を担当する人は危険



回収1



こんな風にしぼっていきます
この作業を「へび」と言います

球皮袋にしまって

皆で運ぶ
正直、重い



回収2



最後に一式をハイエースに積み込む



・泥臭そうでしょ

チーム重要

- パイロットだけで飛ぶわけじゃない
間違えると危険なこの乗り物を、
如何に安全に飛ばすのか



チェイスカー

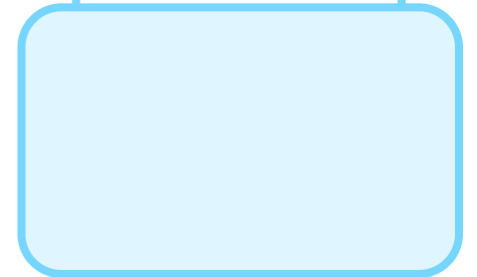
- グランドクルーの協力なしには飛べません
チェイスカーと呼ばれる車と連絡を取り合います
- 各人の役割はフレキシブルに自己判断で変化します
→コミュニケーションと多様性に基づく、
プロジェクト運営

まとめると

- 熱気球には、ソフトウェア開発にも適用できる要素がたくさんあります
- さあ、プロジェクトで一緒にフライトしましょう！
PJメンバーはクルーだっ
- でも、まだ言い足りない事がたくさん(^^;

話せなかったイロイロ Keywords

- “**フライト可否判断**” と “**工数見積もり**”
天気図・観天望気・観測風船・安全係数
- “**風を「読む」**” と “**ゴールの共有**”
高さの調整しか出来ない熱気球は
如何にして方向をコントロールするか
- “**携行品**” と “**メトリクス**”
地図, 高度計, 昇降計, コンパス, 無線機
- “**ランディング**” と “**リスクマネジメント**”





ご清聴ありがとうございました
Happy & Soft Landings!



時間余ったら、もいちど

- 「誰と」重要

- あの人と一緒に働きたいと思う人がいますか？
- そう思える人と一緒に仕事ができていますか？
- 自分もそう思われていますか？

